

全クラス宛／参加に関する再確認事項

1. ライスポカップ 鈴鹿ツイントロフィーレース規則書、HRC-GROM カップ、NSF100 HRC トロフィー、CBR250R/RR ドリームカップ規則書をよく確認すること。安全基準は2022年MFJ国内競技規則を確認のこと。
2. 選手受付
 - ① 日時／場所 5月5日 7:05 ~ コントロールタワー前
 - ② 提示、提出物
 - 1) 参加受理書 メール受理内容提示、またはプリントアウト(当日受付にて事務局より受け取りも可能)
 - 2) ライダーはRSM 会員証(この度、同時申請の方※は免許証でもOK)およびピットクルーのMFJライセンス
※RSM 会員証は、マイページ提示、または、マイページのプリントアウト、コピーを提示のこと
RSM 会員証が提示できない場合は、運転免許証にて本人確認をします。NSF100、GROM カップ、S8※はMFJライセンスでも可 (S8 クラスは 125cc 以下の参加車両のみ MFJ 可)
 - 3) 印鑑
 - ③ 配布物
選手受付時に車番発信器が配布される。エントリーリスト
3. 公式車両検査 (場所:事務局前)
 - ① タイムスケジュールに従い車検場で行われる。(時間厳守のこと。)
 - ② 参加受理書兼車両仕様書を持参のこと。(車両仕様書には選手受付時に受付印が捺印されたものでなければならない。)
 - ③ 車検時に、下記装備品の検査も行うので、持参のこと。
1) ヘルメット(MFJ公認品) 2)グローブ (ブーツ レーシングスーツは写真提示でも確認 OK)
※脊椎パッド、チェストパッド、エアバックは推奨なので、装着が望ましい。
4. 予選・決勝のコースイン、決勝の周回数
コースインは、全クラス予選・決勝とも9番ピットより行います。
決勝は GROM/NSF100 **6周** CBR250 各クラス&ST150/S8 クラス **10周**(ウエットレースの場合は-1周)
5. 届け出書類
 - ① 決勝までにリタイヤの場合、それが確定した時点で速やかにリタイヤ届けを大会事務局に提出すること。
(車番発信器を返却とともに申告のこと)
 - ② 決勝出走嘆願書は暫定予選結果発表後30分以内に大会事務局に提出すること。
(予選計測ができなかったものも含む。)
 - ③ 届け出書類で不明な点があれば大会事務局に問い合わせること。
問い合わせはメールにて5月2日の午前中までをお願いします。(事務局が休みのため)
6. ピットの使用について
 - ① **指定ピットがあります。**
ツインサーキット朝連走行枠に参加される場合でも、No1 から 8 までのピットは使用できません。
 - ② **タイヤウォーマーの使用は各自で発電機を準備すること。**
※サーキット施設、ピットの電源を使用しての、タイヤウォーマーは禁止されています。
決勝グリッドでのタイヤウォーマーの使用は禁止(スタート進行時間の短縮のため)
 - ③ トランポは、屋根付きピットの場合、ピットに面して駐車をしないこと。指定の場所まで移動してください。
7. 車番発信器の返却について
決勝レース終了後、**大会事務局**へ返却すること。
8. 賞典 賞典については次の賞を設ける。(正賞は暫定です)
 - ・正賞 HRC-GROM カップ1位から2位まで、NSF100-JC 1位(記念品のみ)
 - ・CBR250R(E) 1位から3位まで CBR250RR 1位のみ CBR250R(B) 1位(記念品のみ)
 - ・ST150(S8) 1位から3位 ・ST250 1位(記念品のみ)

※参加台数が3台までのクラスは、表彰式に全員お呼びします
9. ウエットレース時のタイヤ制限
ウエットレースの場合は、タイヤの使用本数は制限しない。また公認レインタイヤの使用を認める。
10. ブリーフィングについて
ブリーフィングは必ず、動画視聴確認の告知、または初心者向簡易ブリーフィングに参加のこと。
11. 決勝の出走クラスについて
決勝はワンメイククラス(CBR250R/CBR250RR)、ST250、ST150 は混走で開催する。
HRC-GROM と NSF100 クラスは、混走で開催する。グリッドは、予選総合結果順とする。

注意事項：マナー違反の適用について

- ・サーキット内でのごみ処理が問題になっています。基本的にサーキット内ではゴミを捨てないでください。廃タイヤ、車体の破損物(プラスチック、FRP部品、金属部品等)は、必ず持ち帰ってください。たとえ場内にゴミ箱があっても、これらは施設の清掃用ですので、廃棄処理に費用が発生します。ゴミの廃棄が発覚した場合は、その参加関係選手はマナー違反で失格の罰則とします。